



広報

MATSUYAMA CITY

まつやま

平成23年 2011.07.01

No.1201

主な内容

- 子ども特集4・5面
- 小中学生限定 親子松山はいく募集 ...3面
- 市民ガイド6~8面
- 新・道後寄席2011募集10面

発行:松山市役所/編集:総合政策部広報課/毎月1日・15日 ☎948-6705 FAX 934-2578 HP http://www.city.matsuyama.ehime.jp/

市勢 平成23年6月1日現在推計(前月比) ●面積:429.05km² ●人口:516,519人(+130) ●男:241,457人 ●女:275,062人 ●世帯数:229,732世帯(+227) ●一世帯の平均:2.25人 ●人口密度:1,204人/km²

野志市長 被災地へ

一日も早い復興を

~届け みんなの思い~

3月11日に発生した東日本大震災。いまだ復興への険しい道のりが続く中、被災地では何が必要なのか、どうしたら力になれるのか、その思いと今まで寄せられた市民の気持ちを野志市長が6月5・6日、宮城県南三陸町と福島県会津若松市へ届けました。



被災した町を見つめる野志市長(宮城県南三陸町)

被災地を訪れて

東日本大震災により、お亡くなりになられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に対しまして、心からお見舞い申し上げます。

このたび震災直後から被災地支援のため職員を派遣している南三陸町を訪問させていただきました。

実際に現地を視察し、一生懸命に活動をしている職員の姿を心強く感じた一方、寸断された道路や線路、倒壊した家屋、横たわる大型船舶など、目に映るすべての光景に慄然といたしました。また佐藤町長との会談では、限られた設備、環境の中で、いかに被災者のニーズにあった支援ができるか、その在り方をあらためて考えさせられると同時に、被災地からの給水車両などの提供要望に対し、部品調達の関係などからすぐに応えることができない歯がゆさも感じました。

そこで、すぐにでもお役に立てることはないかとお話しをさせていただく中で、職員用パソコンと夏用作業服が不足していることから、早急に対応させていただくことをお伝えしました。

本市といたしましても、できる限りの支援を続けてまいりますので、市民の皆さんにも、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成23年6月16日
松山市長 野志 克仁



避難所に掲示されたことばの懸垂幕と応援メッセージ(南三陸町)



ことばの懸垂幕を佐藤町長(左)へ

ことばのちからで元気を
被災地が元気になってほしいとの願いを込めて、ことばの懸垂幕を南三陸町・佐藤町長と会津若松市・菅家市長に手渡しました。また津波の被害が大きかった南三陸町には、フリーカメラマン・田所正臣さんから頂いた1032人の

派遣職員を激励
避難者の健康相談や避難所の衛生対策などの支援のため、本市から延べ51人(6月5日現在)の職員を派遣している南三陸町を訪問した野志市長は、現地で活動中の職員



応援メッセージ入りの俳句ポストを菅家市長(右)に贈呈

応援メッセージを、余震や放射線などの風評被害を受け、被災地から多くの避難者を受け入れられている会津若松市へは「俳句ポスト」を届けました。この俳句ポストは本市の知的障害施設共同作業所「おいでや」が被災地への思いを込めて作製したもので、被災地を応援するメッセージも書かれており、会津若松市のシンボルで、松山城の城主であった加藤嘉明を城主にもつ鶴ヶ城に設置されます。

ベルマークを募集
被災地の学校施設支援のため、市役所本館1階案内所支所、市民サービスセンター、市保健所、総合コミュニケーションセンターでベルマークの募集を受け付けています。

今後の支援
南三陸町に対し、台湾・北市松山慈祐宮などから頂いた義援金を活用して、給水車両や給食運搬車などを寄贈する予定です。



現地で活動中の職員を激励する野志市長

に「体に気を付けて、松山市の代表として頑張ってください」と激励すると、職員は「少しでも被災地の手助けができるよう精一杯頑張ります」と力強く答えました。

保存してください。いつかまたお役に立ちます